

授業科目	臨地実習Ⅱ				単位	2		
履修	選択	関連資格	管理栄養士 栄教一種免		ナンバリング	NT32302J		
開講年次	3年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	近江 雅代、田路 千尋							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>本実習は、実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識および技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき知識と技能を修得することを目標とし、2または3週間、医療施設(病院)での実習を行う。学外での実習を授業の中心に位置付け、主として実践的教育から構成される。実習中の直接的指導者は病院管理栄養士であり、実務者教員として、臨床の場において必要とされる実践的な栄養ケアの知識・技術を教授する。その事前学習として、傷病者の栄養評価・判定を行い、その結果を基に適切な栄養管理や栄養指導を行う能力を習得する。また事前指導として、事前オリエンテーション、事後指導として、実習報告会を開催し、実体験で得た病院での栄養管理のあり方について、総合的な理解を図る。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療施設における栄養管理の意義、方法について理解し、説明できる。 2. 栄養ケアマネジメントを理解し、実施することができる。 3. チーム医療を行うためのコミュニケーション能力を習得できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	35	10	10	45	100	
知識・理解 (DP1-1)						5	5	
知識・理解 (DP1-2)					10	10	20	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10			10	20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10	10		10	30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)						5	5	
態度 (DP4-2)			5			5	10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			10				10	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル 1～3 の全てを達成したうえで、これまでに学んだ専門的知識および技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき能力について理解し、修得することができる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療施設における栄養管理の意義、方法について理解し、説明できる。 2. 栄養ケアマネジメントを理解し、実施することができる。 3. チーム医療を行うためのコミュニケーション能力を習得できる。 				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	<p><事前学習>(近江雅代、田路千尋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回オリエンテーション ・実習の目的、実習に対する心構え等について説明する。 ・事前学習ノートを作成指導する。 	講義・演習	<p>予習:事前学習ノートを作成し、実習項目すべてについて、整理し、まとめる。</p> <p>復習:事前学習ノートの添削に従い、より深く調査し、まとめる。</p>	120 120
2	<p><事前学習>(近江雅代、田路千尋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回オリエンテーション ・実習ノートの使い方、腸内細菌検査、病院での接遇等について、説明する。 ・実習施設より提示された課題について、添削指導する。 	講義・実習	<p>予習:実習先の課題をまとめる。</p> <p>復習:課題の添削に従い、訂正し、仕上げる。</p>	540 1080
3	<p><事前学習>(近江雅代、田路千尋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回直前オリエンテーション ・社会人としての礼節、職業倫理、実習の取り組み方等について、説明する。 ・持参物、実習施設より提示された課題について、最終確認する。 	講義・演習	<p>予習:実習にあたり、これまでに学んだ知識を整理し、まとめる。</p> <p>復習:実習に対する心構え、知識および技術について、再度確認する。</p>	540 540
4	<p><実習施設での実習>(2~3週間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習施設の指導担当者の助言・指導に基づき、積極的に実習へ取り組む。 	講義・実習・演習	<p>予習:実習計画を参照し、事前学習を行う。</p> <p>復習:実習内容を整理し、実習ノートにまとめる。理解できなかった内容は自己学習し、知識を整理し、翌日の実習に備える。</p>	60/日 120/日
5	<p><事後指導>(近江雅代、田路千尋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習中に習得した栄養ケア等について、事後報告会を行う。 ・特に、自ら設定した課題とその解決について発表する。 	講義・演習	<p>予習:実習内容をまとめ、発表資料を作成する。</p> <p>復習:実習ノートをきちんと整理し、実習の自己評価を行った後、実習ノートを提出する。</p>	120 120
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	本実習は、実践活動の場において、管理栄養士として必要な実践的な栄養ケアの知識・技術を総合的に学ぶため、これまでに学んだ専門科目の十分な知識および技術を必要とする。			
テキスト	福岡県栄養士会監修：「病院栄養管理の基本と実際」(福岡県栄養士会)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて、資料を配付する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>臨地実習2は、管理栄養士国家試験受験必須科目です。そのため、実習のための要件科目が設定されています。本実習は、臨地実習1、栄養治療学1・2、臨床栄養管理学、栄養教育論1・2、栄養カウンセリング論、臨床栄養学実習1・2、栄養教育論実習1・2、公衆栄養学1・2、公衆栄養学実習の単位を全て修得しておかなければ履修できません。</p> <p>また、臨地実習2に臨むにあたり、これまで受講した各教科について十分に復習し、傷病者に対し、“管理栄養士”としてどのような栄養管理を行うのかについて、各自でテーマを設定、十分な事前学習を</p>			
達成度評価に関するコメント	評価については、授業の中で説明する。『その他』は実習施設からの評価とする。			